



ざんぐり



6/28 京都府立植物園 蓮の鑑賞会
花言葉《清らかな心》

・バス研修旅行報告 名古屋方面 2、3	・人生100年フェスタ R6 へのお誘い 10
・府立植物園蓮鑑賞会報告 4、5	・ふれあいサイエンスへのお誘い 11
・地域活動報告 日向大神宮 6	・ようこそ動物園へのお誘い 12
・SKY シニア大学報告 自然体験コース 7	・特別講演会へのお誘い 13
・共催講演会報告 心配な自然災害 8	・Small talk room 14、15
・目標歩数歩こう会実績報告 9	・事務局便り（行事へのお誘い） 16



5月バス研修旅行 名古屋城・徳川園・リニア鉄道館へ



亀山 みさ子

5月17日(金)は素晴らしい天気恵まれて、2台のバスは予定通り8時半に、京都駅前を出発しました。鴨川西から第二京阪道に入り、久御山ジャンクションを経て京滋バイパスへ。バスは快適に走りちょっと渋滞にはつかまったものの9時45分に名古屋城に着いて、平成30年に復元のなった本丸御殿



を見学しました。江戸時代の文献や戦前の写真、実測図など豊富な資料をもとに、旧来の工法や材料を採用し、史実に忠実に復元された御殿の室内は、



本丸御殿、玄関

豪華な障壁画や飾り金具、欄間などで飾られていて、見ごたえのあるものばかりでした。



本丸御殿内部、豪華な室内装飾

1時間強の見学の後、昼食場所の宝善亭へ移動。落ち着いた佇まいのお店で、目にも舌にも優しい食事をいただきました。食後は隣接の徳川園の自由散策です。名古屋城の約3km東にある徳川園は尾張藩第二代藩主光友が1695年に自分の隠居所として屋敷を造営した跡地に築造された庭園です。



宝善亭の昼食

1931年に名古屋市に寄付され改修整備後一般公開されたのですが、第二次世界大戦の大空襲によって



徳川園、庭園

ほとんどの建物や樹林などが焼失し、戦後、現代的な都市公園となり市民に利用されてきました。平成に再整備され、20年前に本格的日本庭園として開園しました。都会の真ん中とは思えないような深い



徳川園、庭園で昼食後の一服

緑、見事な石組み、そこを流れる溪流や滝、心癒される時間でした。

14時30分に今回の最終見学地のリニア鉄道館にむけてバスがスタート。15時15分に着いて、見学は1時間。スマートフォンで音声ガイドが聞けるといふ事だったので、うまくいかなかった人もあったようです。



リニア鉄道館へ

2011年3月にオープンしたリニア館は、広大な建物の中に、東海道新幹線を中心に在来線から超電導リニアまで39両の実物車両が展示されています。



ご存じSL: C57、愛称「貴婦人」

リニアの実験線で時速581kmを記録したというMLX01-1の車両は、まさに未来の乗り物という姿で圧倒されました。模型やパネル、実物を使って、鉄道の仕組みや歴史を体験しながら楽しく理解できる工夫もされており、全部をまわるには、時間がたりませんでした。

鉄道ジオラマも素晴らしい出来栄で、ずっと見続けたいぐらいでした。



リニア先頭車両実物



16時20分に、バスは帰路につきました。少し渋滞に巻き込まれましたが、土山のサービスエリアからは、バス内はビンゴゲームで盛り上がり楽しく過ごすことができました。バスの中で聞いた「リニアは、本当にすごいけれど、その開発費用の一部でも、過疎地で廃線になりかけている鉄道に回してもらえたら・・・」という話に、うなずきました。

予定より少し遅れたものの、バスは無事に京都駅八条口に到着。丁寧な運転をしてくださったドライバーさんにお礼を言って、「ちょっとせわしかった気もするけれど、いい研修旅行でしたね。」「次回も、ごいっしょできるといいですね。」と言いながら、それぞれが家路につきました。

mini 情報

名古屋城の金鯨、実は雄雌一対で、天守閣北側の金鯨が雄、南側の金鯨が雌であることはあまり知られていません。伊吹おろしの冷たい北風から雌を守るために北側が雄なのだとか。雄の方が大きく、尾ひれが空を向き、口が大きく開き、金の量も多いのですが、鱗の枚数は雌の方が多くきらびやかに演出されています。



現在のシャチ		
区分	南鯨(雌)	北鯨(雄)
総高	2.579m	2.621m
重量	1,215kg	1,272kg
金板の種類	18k	18k
金板の厚み	0.15mm	0.15mm
うろこの枚数	126枚	112枚
金量(18k)	43.39kg	44.69kg



＜蓮の鑑賞会と園内スタンプラリー＞実施報告

日 時： 2024年6月28日（金）9：00～11：30
場 所： 京都府立植物園
講 師： 京都府立植物園課長補佐 山本 和喜 氏
受講者数： 22人

（報告）

梅雨の時期、前日まで降らなかった雨が、朝から雨となり、開始前には、地面をたたきつけるような土砂降りの雨の洗礼、開催をどのようにするか思案していたところ、9時の開園頃には、小雨になり、実施という運びになった。皆様の多少の雨でも蓮を見たいと思う気持ちが伝わったように思われた。奇跡です！大雨で蓮はどのようになっているか心配に思われたが、「彩の丘」には、大鉢の中に大輪の蓮の花が咲き、幻想的な世界観を作って待っていてくれた。



小雨になり無事開催できた

まずは、長きにわたり中国での「蓮」研究の経歴をお持ちの講師から、手のひらにのる「碗蓮（わんれん）」を紹介していただいた。可憐な花の付き方が日本人好みのもので、お碗仕立ては、中国から渡ってきたものの現在は中国では見かけないようである。受講者も興味津々で鑑賞されていた。」

碗蓮歓迎！！



可憐な碗蓮

植物園の蓮は、固有種を守る意味から種ではなく、蓮根という根から栽培するそうである。蓮の花は、4日間だけ咲く、まして、紫外線の刺激を受けないように日差しの柔らかな早朝に咲くそうである。蕾から少しずつ開き2日目が見え、一番美しいようで、花托がつく4日目には、はかなく散ってしまうそうです。



蓮の地下茎



どこを切ってもハチスの形

彩の丘の花の付き方を目で見て、手で触れて、香りをかいで、茎の構造を見て（どこを切ってもハチスの形！！）、花托のハチスを眺めて、あらゆる感覚を研ぎ澄まし鑑賞、これは、講座だからできること、また、開花時のほんのり温かい蓮の花のぬくもりを手のひらで感じたり、惜しみなく披露される「蓮物語」に蓮酒ものんでもいないのに酔いしれてしまう感がした。



コロコロ転がる水の球

この時期、一番人気の蓮に小雨が降り注ぎ、まるで、美酒を注いでいるかのようにコロコロ転がる水の球を見ながら、なんと、豊かな知識をいただきながら

らぜいたくな時間を過ごすことができたのだろうと思える時間だった。

雨の中、衣服が濡れながら説明して下さった講師の先生、また、雨音を聞きながら説明を聞いてくださった受講者の皆様、蓮の魅

力が十二分に伝わった様子で、笑顔で蓮の散策を楽しんでいただくことができ良かったと思える蓮の鑑賞会であった。

(ちょっと豆知識)

- 「ひいらいた ひらいた れんげのはながひらいた」のわらべ歌は、春のレンゲの花ではなく、蓮の花が開いたり閉じたりすることをうたったもの
- 蓮の仲間のヒツジ草、未の刻14時に咲きます。夕方にかけて咲く。
- 蓮の花（東洋系 北アメリカ系）北アメリカ系は黄色のキバナハス
- 蓮の葉の不思議、葉を手で触るとざらざらしている。葉が泥で汚れないような仕組みになっている。



葉はざらざらしている

葉で呼吸するから汚れないように撥水性が必要。この原理をヨーグルトの容器のフィルムに使用しているそうです。

- 蓮と睡蓮の違いは、水面で咲く睡蓮、水面より上で咲く蓮、生息している場所によって、葉の形状や構造、茎の形や構造、花の咲き方、根の構造とか異なることが多々ある。同じように見えて全然違う??
- ※日本にも各地に古代蓮が鑑賞できる場所がある。水が守ってくれる蓮の種に植物の不思議を感じながら、新しい蓮との出会いを楽しみたいものである。

**講座終了後は、休憩をして、
スタンプラリーに・・・**

雨もやみ、植物園内外周路を一周・・・雨に洗われた緑の木々から、針葉樹の芳香がしてくる。

なんとも香しい木の香り・・・雨上がりだから感じる事ができるみずみずしい木の香りは、心を浄化してくれるかのように体の隅々にまで染み渡る。

人も少なく、絶好の空間、軽いウォーキングをしながら、談笑し、今、美しい盛りのアジサイ、思いもかけないキヌガサタケも姿を見せて歓迎・・・数メートル先まで香りをただよわせるユリ、ザクロのオレンジ色の花が緑の葉の中に色鮮やかに、今だからこそ見える

かわいらしいザクロの実の鑑賞もでき、皆さんの顔がほころぶ。タイサンボクの名残の花の芳香な甘い香りを楽しみ終了!!

木の幹を流れる樹幹流を私たちは、栄養ある水としていただくことができる。水の豊かさ、花の美しさを感じながら、心豊かに数時間を過ごすことができた講座であった。皆様、記念の植物園ファイルをお土産に帰路につかれた。

初めて開催した蓮鑑賞の講座は、とても、印象深い講座となり、きっと、皆様、梅雨の季節が来ると蓮に触れた感覚や印象を思い出していただくであろうと思われた。

植物園の良き思い出として、いつまでも心に温めていただきたいと願いながら講座を終えた。

岩本 照美



アジサイ



キヌガサタケ



満開のユリ



地域活動（2024年5月31日）

『神明山に有る日向大神宮から南禅寺水路閣』の地域活動

伊勢田 龍雄

5月31日、地下鉄・蹴上駅に集まった18名。曇天のもと、地域活動が行われました。

日向大神宮は山科区にある神社で、三条通り沿いの神明山にあり、「京の伊勢」とも称される。社伝によれば、第23代顕宗天皇の治世に勅願により筑紫の日向にある高千穂の峯の神蹟より神霊を移して創建されたという。その後、天智天皇が神田を寄進して神域の山を日御山（ひのみやま）と名付けたといわれています。



日向大神宮
開運・厄除け・縁結び

蹴上駅から日向大神宮までは、延々と坂道が続きます。途中、道を間違えて、少々行程が長くなったのも、「ご愛敬」参加者全員、元気に登り切りました。

日向大神宮では内宮・外宮が有り、各自、拝礼をして、その後、巨石をくり貫いた天岩戸が迎えてくれました。



天岩戸くぐり/心身の穢れを落とす

少々休憩をとった後、日御山の山頂にある伊勢神宮遥拝所にむかい、山頂から、遠く平安神宮の鳥居を見ることができました。



伊勢神宮遥拝所にて

神宮でご利益を貰ったあと、琵琶湖疎水からの水を運び込んでいる囁きの小路を横に見ながら、南禅寺水路閣に向かいました。



南禅寺水路閣導水路
ささやきの小路をゆく

今回は、神社の荘厳な雰囲気と囁きの小路での「癒し」が味わえた一時でした。

南禅寺・水路閣に参加者全員たどり着き、流れ解散となりました。



SKYシニア大学「自然体験コース」 7月3日、4日の1泊2日の体験授業に参加して

西崎 久美子

あうる京北(京都府立ゼミナールハウス)で、シニア大学の授業では初めての泊まりの授業を体験しました。

1日目は最初に亀岡にある「京都ほづ藍工房」の方から藍のお話をききました。次に藍畑を見学の後、工房での藍染体験です。あまり乗り気ではなかった人も、いろいろな絞り方でためしました。出来上がりはそれぞれの個性がひかり素晴らしい唯一無二の作品ができました。



藍染め、自慢の出来栄です

あうる京北到着の後は宿泊の皆で BBQ。初めはぎこちない会話もビールの力のおかげで弾み、楽しい晩御飯になりました。夜はお風呂に入ってぐっすり休みました。



夕食は楽しみの屋外バーベキュー
お酒も進み話がはずみます。

2日目は美山の「草木舎」の先生の野草茶作りの授業です。

野草茶作りでは、先生が前もって集めて干して下さった様々な野草をブレンドし、ほうじて、自分たちが希望する効能のお茶を作り、味わいました。



野草茶作りテーブル毎に
希望に沿った効能の野草をブレンド

野草散歩では私たちが雑草だと思っている草花がそれぞれ健康に役立つ効能を持っている事を知りました。それぞれ気に入った草花を袋に詰めました。

お昼ご飯は、京都美山*緑屋の「体にやさしいお弁当」です。美山の美味しい野菜や卵のお料理を満喫。

最後に美山かやぶきの里で散策や買い物をたのしみ、予定どおりに二条駅に帰着しました。



「美山かやぶきの里」を散策。

共催講演会 2024年7月8日

『京都で今、心配な自然災害』の講演を受講して

森下 一典

講演は河田恵昭博士で専門分野は河川工学：自然災害：防災システムであり、78歳とは思えない力強い語りとユーモア、そして辛口トークも交えながらの、あっという間の1時間30分であった。レジュメの終わり辺りは駆け足での話となり、まだまだ聞き足りない状態で終わりをむかえた。

今回印象に残った内容は、①能登半島地震の被害状況を視ると29年前の阪神淡路大震災の教訓が生かされていない。29年前と同じように古く耐震性の弱い建物の倒壊が目立つ。その時の教訓を我が事として対応していれば被害はもう少し減っていた。これは能登に限ったことではなく全国各地に言えることである。②台湾のボランティアは進んでいる。日本より進んでいるのだ。意外である。復興はお金ではなく、知恵の出し合い一自治体だけで復興、復旧するのではなくオールジャパンで取り組むことが重要であり、そのノウハウを蓄積し次に活かすことが大事である。それが台湾では出来ていたのか。日本では毎年、地震や洪水で大きな被害が発生している。自然災害の発生を止めることはできないにしてもオールジャパンで取り組めば減災はできる。また、関連死も減少させることができるであろう。

京都市も三方を山に囲まれ活断層も多く存在する。そして、西には桂川、中心部には鴨川、南には宇治川が流れ河川の氾濫も他人事ではない。嵐山の渡月橋付近の氾濫も記憶に新しい災害である。今年の新年早々に激震が走った。能登半島での地震である。昨今、近畿地方でも南海トラフ巨大地震の発生が言われている。

また、ゲリラ豪雨や河川の氾濫が頻繁にニュースとなっていることもあり、受講生の多くの方々が自分事として話に耳を傾けられたと思います。

今回、講演いただいた先生は、身近に災害はある。やはり他人事として見過ごしてはいけない。

私は中丹地区の出身で近くに由良川が流れ普段は鮭も遡上し、鮎や他の魚も多く生息する綺麗な川ですが、時にして牙をむきます。舞鶴での洪水でバスが濁流に取り残され救助される映像を見られた方も多いと思います。私自身も記憶に残っているもので1回、記憶の無い、生まれて間もないころに2回、京都に就職した後に1回、実家が水害に遭っています。幸い家が流されることはありませんでしたが、父親にその当時の話を聞くとやはり避難することが一番と言っていました。家、家具は修復できるが、命は帰ってこない。また、後片付けは大変なものです。水に浸かった畳は何十キロにもなり、床下には砂や泥が堆積しており、取り除かないと消毒することもできません。

やはり「備えあれば憂いなし」それぞれの家庭、地形、地域の状況により備え、心構えはそれぞれだとは思いますが、地震の発生や台風シーズンに備え、家庭、町内会のみなさんで改めて考え、気を引き締めましょう。自助、共助、公助でできることからやっていきましょう。

今日の講演会で災害の怖さ、また、近くの災害だけでなく遠くの災害も自分事としてとらえ、何ができるかを考えるいい機会となった。ありがとうございました。

講師 工学博士 河田恵昭 京都大学名誉教授
関西大学社会安全研究センター長・特別任命教授
阪神・淡路大震災記念、人と防災未来センター長



能登半島地震

第51回 目標歩数歩こう会の結果報告



2024年4月～5月の2ヵ月間に亘り「目標歩数歩こう会」を実施し致しました。8名の方より貴重な実績報告をいただきました。皆様ありがとうございました。

目標歩数を決めて毎日少しでも歩くことで健康を維持し健康寿命を延ばすのが目標です。目標を決めて歩こう会に参加することで自ずと効果が出ています。

次回は10月～11月です。皆様の更なる健康とご参加を期待しています。

(敬称略)

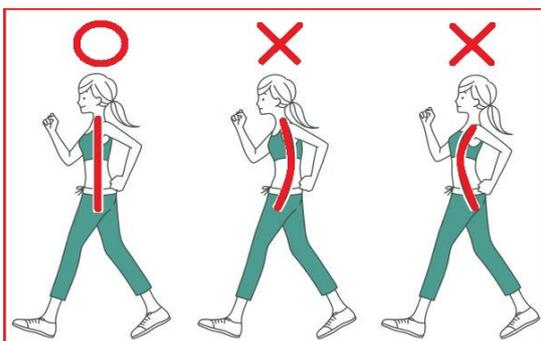
順位	氏名	合計歩数	1日平均歩数	目標歩数	達成率
1	吉野 忠光	647,379	10,613	8,000	133%
2	亀山 みさ子	642,882	10,539	9,000	117%
3	藪内 豊造	632,773	10,373	10,000	104%
4	木下 明美	631,278	10,346	8,500	122%
5	木村 高志	613,500	10,057	10,000	101%
6	谷川 稔	500,734	8,208	7,000	117%
7	堀井 信一	499,337	8,185	10,000	82%
8	中曾 偉人	304,182	4,986	5,000	100%
合計		4,472,065	73,307	67,500	109%
平均		559,008	9,163	8,438	109%

(健康福祉担当理事 木村 小林 中曾)

今回一言コメントを頂きました。

TKさん：平均一万歩ですが、一万歩に満たない日が30日もありました。なまけ癖がつかない様に前向きで一歩でも。

TYさん：齢八十五を過ぎ体力気力の衰えを痛感する昨今です。今回の参加を最後とします。有難うございました。



左図の歩行姿勢○を意識して歩きましょう



SKY人生100年フェスタ・R6 出展のご案内

京都SKY大学同窓研修会は今年度もフェスタ R6 に出展します！！
写真展示を中心に、おみくじやゲームなどお楽しみ企画をご用意して、
会員の皆さまのご来場をお待ちしております。

ご家族やご友人とお誘い合わせの上、会場に足をお運びください。

****会員の皆様は、ページ左下の粗品引換券を切り取ってご持参ください****

◆開催場所 京都市勧業館『みやこめっせ』1階第2展示場

◆日 時 令和6年11月9日(土)、10日(日)

10:00～16:00

(9日は12:30オープン)



粗品は同窓研修会
会員さん限定です
切り取り

SKY 大学同窓研修会
粗品引換券
DosoKen

DosoKen №117号



昨年度に初開催しました講座『ふれあいサイエンス』を継続開催します。今年新設の『ジオエアKYOTO～京都の地質を感じよう～』、および『京都府レッドデータブックの生物標本展』で生物多様性を学び、プラネタリウムでは京都周辺の山々の景色の中に広がる宇宙の不思議、地球環境を守ることの大切さを「科学の心」を持って学びませんか。

2024年9月27日(金) 9:30～12:00 雨天実施

会場：京都市青少年科学センター

京阪電車：藤森駅下車，西へ約400メートル

地下鉄・近鉄電車：竹田駅下車，東へ約1キロメートル

*9:15までに京都市青少年科学センターに集合してください

講師：青少年科学センター展示係長兼天文係長 中井祥平氏

内容：
➢ 京都市青少年科学センターの紹介
➢ 体験型の展示品の見学と解説
➢ プラネタリウム（じっくり満喫コース）観覧

* 講座時間内での展示品の紹介は一部分になります。
お弁当を持参して、ぜひ昼からも自由に展示品を楽しんでください。
“チョウの家”の解説は14:30から開催されます。

募集人数：40名（40名以上になりましたら抽選をおこないます。）

参加費：1,000円（入場料とプラネタリウム観覧料など）

同窓研修会会員以外の方は、別途500円

[講座の申し込み方法] 「往復はがき」で下記へ申し込んでください

〒604-0874 京都市中京区烏丸通丸太町下ル ハートピア京都2階

(財) 京都SKYセンター内 京都SKY大学同窓研修会

[記載内容] 同窓研修会 講座<ふれあいサイエンス2> 申込みと記載

氏名・住所・電話番号・同窓研修会会員または非会員を明記してください

[締切日] 2024年9月13日(金) 必着で申し込みください

[お問合せ] 岩本照美 Tel 090-2285-2265

※ 抽選の結果が確定しましたら、後日、全員の方にご案内させていただきます

DosoKen

生物多様性を学ぶ

京都SKY大学同窓研修会

…京都市青少年科学センター編





『ようこそ動物園へ』3

昨年度に続き、『ようこそ動物園へ』を開催します。

命のつながりとして存在する動物は、心の癒しとして存在することも多く、生きるのに必要最低限なもの何かを、気持ちを通い合わせることができる大きな存在です。動物園内の動物の生態、動物を慈しみ寄り添い飼育される飼育員の方の取組を聞かせていただきながら、命のつながりとしての動物の存在を感じてみませんか。

2024年11月15日(金) 10:00～12:00 雨天実施

会場：京都市動物園

地下鉄東西線：東山駅 徒歩10分、蹴上駅 徒歩7分

市バス：岡崎公園 動物園前 徒歩2分、東山二条・岡崎公園口 徒歩10分

*9:45までに京都市動物園正面入口前に集合してください

講師：京都市動物園 副園長(兼 生き物・学び・研究センター長)

理学博士 田中正之氏

内容：▶京都市動物園の取り組み紹介

▶園内の観覧と解説

*講座時間内での園内紹介は一部分になります。

昼からも自由に園内を楽しんでください。

募集人数：30名(30名以上になりましたら抽選をおこないます。)

参加費：入園料750円は実費負担

京都市在住の70歳以上は無料(証明必要)

同窓研修会会員以外の方は、別途500円

【講座の申し込み方法】「往復はがき」で下記へ申し込んでください。

10月から郵便料金が変わります。ご注意ください。

往復はがきは170円(85円×2)になります。

〒604-0874 京都市中京区烏丸通丸太町下ル ハートピア京都2階

(財)京都SKYセンター内 京都SKY大学同窓研修会

【記載内容】同窓研修会 講座『ようこそ動物園へ3』申込みと記載

氏名・住所・電話番号・同窓研修会会員または非会員を明記してください。

【締切日】2024年10月28日(月) 必着で申し込みください。

【お問合せ】岩本照美 Tel 090-2285-2265

… 京都市動物園編





特別講演会のご案内

科学を文化として楽しむ

日時：2024年9月30日（月）
午後2時30分～4時
場所：京都テルサホール
講師：JT生命誌研究館館長
・京都大学名誉教授・歌人
永田和宏氏

〔生命誌絵巻 JT生命誌研究館HP〕



ブラックホールってなんだろう

～最新の研究成果から～

日時：2024年12月9日（月）
午後2時30分～4時
場所：京都テルサホール
講師：京都大学名誉教授
嶺重慎氏

2017年に史上初めて撮影された楕円銀河 M87 の中心にある巨大ブラックホール（左）、新たに発表された翌年の姿（EHT コラボレーション提供）



講演会への参加申込方法

京都 SKY シニア大学の各コースを受講されている同窓研修会会員の方は、申し込みの必要はありません。大学を受講されていない会員の方は下記の要項で申し込んで下さい。

【申込期限】 9月30日の講演会は9月20日迄
12月9日の講演会は11月30日迄
往復ハガキ又は、ショートメールで申し込んで下さい。
※10月から郵便料金が変わります、ご注意ください。

【記載内容】 参加ご希望の講演名を一つ又は両方・氏名・住所・電話番号を明記して下さい。往復ハガキは下記宛お送りください。
〒604-0874 京都市中京区烏丸通丸太町下ル ハートピア京都2階
(財) 京都 SKY センター内 京都 SKY 大学同窓研修会

【問合せ先】 岩本照美 Tel090-2285-2265(ショートメールでの申込はこちら)

【注意事項】 同窓研の会員は同窓研に直接申し込んで下さい、無料です。
往復ハガキでお申込みの方は、返信ハガキをお持ち下さい。
ショートメールでお申込みの方は、返信メールをご確認下さい。

❗ SKYセンターへの申込は、同窓研の会員以外の扱いになり有料となります。

春から初夏にかけて

疏水端 若葉と鷺(さぎ)の色模様

梔子(くちなし)の白さ際立ち 香(かぐわ)しく

紫陽花の水面を揺らす 艶(あで)やかに

詠
風
遊





Small talk room 初めのご投稿です。
頂いた時期は、6月まだ梅雨入り前の
貴重な季節でした。

「私の俳句は、習ったこともなく、
同好会などにも縁がない、全くの素人の
作品です。下手な句と言われるかも
しれませんが、今回は蛮勇をふるっての
投稿です。」と、一言添えてありました。

風 遊 様

四季のある日本だからこそ、日常の中にふと心に留まる景色が見られます。
その瞬間を言葉にするために、どのような技法が必要でしょうか。

疏水のほとり、新緑と日差しがあふれ、目にも鮮やかな鷺、梶子の白、
紫陽花の薄紫の花が、水面に写り込み揺れる様子が目に浮かぶようです。

ひととき、季節の絵を楽しませて頂きました。有難うございました！ **special thanks**



* このページは会員の皆さまのお喋りの場です。日ごろのちょっとした、他愛ない出来事など、
お気軽にお寄せください。次回はどのような投稿をご紹介できるでしょう……

原稿送付ご案内

メール：skydosoken@gmail.com まで

Word・Excel、写真類はJPG形式で

郵 送：〒604-0874 京都市中京区烏丸通丸太町下ル

ハートピア京都2階 京都SKYセンター内

京都SKY大学同窓研修会「ざんぐり」編集係宛

-  原稿に関連した写真も添えて下さい。
-  メール、郵送とも、お名前、連絡先（☎ 番号）を明記ください
-  匿名を希望される方は、その旨明記ください
-  投稿は同窓研修会会員限定とさせていただきます。
-  投稿多数の場合は編集担当による選考となります。
-  お送りいただいた原稿の返却は致しかねますのでご了承下さい。



行事予定・ほか



- *秋のバス研修旅行** *詳細は同封しました別紙を参照して下さい。
・開催日 2024年11月14日(木)
・行先 関ヶ原方面
- *秋のウォーキング** *詳細は同封しました別紙を参照して下さい。
・開催日 2024年10月21日(月)
・行先 宇治方面
- *秋の地域活動** *詳細は同封しました別紙を参照して下さい。
・開催日 2024年10月17日(木)
・行先 京都薬科大学 日野薬草園
- *人生100年フェスタ・R6へのお誘い** *詳細は本文10ページを参照して下さい。
・開催日 2024年11月9日(土)・10日(日)
・会場 京都市勤業館みやこめっせ 1階 第2展示場(京都市左京区)
- *新規講座** *詳細は同封しました別紙を参照して下さい。
・開催日 2024年11月21日(木)
・開催場所・内容 大徳寺塔頭 玉林院・作務、座禅、お茶会
- *ミニ講座(1)** *詳細は本文11ページを参照して下さい。
・開催日 2024年9月27日(金)
・会場 京都市青少年科学センター(京都市伏見区)
- *特別講演会(1)** *詳細は本文13ページを参照して下さい。
・開催日 2024年9月30日(月)
・会場 京都テルサホール(京都市南区)
・テーマ 「科学を文化として楽しむ」
- *ミニ講座(2)** *詳細は本文12ページを参照して下さい。
・開催日 2024年11月15日(金)
・会場 京都市動物園(京都市左京区)
- *特別講演会(2)** *詳細は本文13ページを参照して下さい。
・開催日 2024年12月9日(月)
・会場 京都テルサホール(京都市南区)
・テーマ 「ブラックホールってなんだろう」～最新の研究成果から

***京都見聞・こぼれ話**
第13号「丸太町通り」をお届けします。

発行 / 京都SKY大学同窓研修会
編集 / ざんぐり編集委員会
☎604-0874 京都市中京区烏丸通丸太町下ル ハートピア京都2階
公益財団法人 京都SKYセンター内 ☎075(241)0226 FAX 075(241)0204

Dosoken №117号